



2021.7.25(日) 13:31kickoff ヤンマーフィールド長居

桃山学院大学	1	0	前半	0	0	関西福祉大学
		1	後半	0		
68分	19 池田 翔大(37 木下 誠太)	得点(アシスト)				

7月1日から開幕した関西選手権もついに決勝戦。下馬評を覆す快進撃を続ける両チームが今年度の「春の関西王者」を決める。桃山大は準決勝からメンバー変更なしで臨んだのに対し、関福大は前の試合から2名を変更。関福大・服部主将が注目選手に挙げたスピードスターFW10、奥村も出場停止が明け、スタメンに名を連ねた。前半から猛攻を仕掛けたのは関福大。長短のパスを使って人もボールも動くサッカーを展開。30分には惜しいシーンもあったが、ゴールにはならず。桃山大は守護神21、瀧浪を中心にしぶとく守る時間が続き、0-0で後半へ。56分、ゴール前中央でこぼれ球に関福大・MF8、谷本がシュートを放つもGK正面。悔しさで頭を抱える。すると68分、歓喜の瞬間が桃山大に。MF37、木下の右足クロスに中央でFW19、池田が頭で合わせ、ネットを揺らす。「ナイスクリス！」の聲がピッチに響き渡り、喜び爆発。(※池田の出身校名からつけられたあだ名で、チームでは愛されキャラ)その後、86分にCKから桃山大・FW9、山口が頭で詰めるも、関福大・GK1、水井が防いで追加点を許さず。そのまま試合は終了し、桃山大が17年ぶり2回目の優勝を達成。この日の決勝ゴールを「前半の厳しい時間にみんなが守ってくれたので、自分もやってやろうと思っていた。得点という結果になってよかった」と話した池田は今年度からトップチーム昇格を果たした選手。大学3年で花開きつつある桃山大のエースは全国大会で大輪の花を咲かせ、チームを日本一に導いてくれるだろう。



Reported by 本橋駿



主将 DF3,石津 大地

Q.ゲームを振り返って

しんどいゲームだったんですけど一人一人が諦めない気持ちと勝つことを信じ抜いた結果だと思います。

Q.総理大臣杯に向けて

総理大臣杯は連戦で負荷が大きくなるので練習から強度の高い練習をして、結果を残したいです。

Q.最後に意気込みを一言

日本一



FW19,池田 翔大

Q.関西選手権を全体的に振り返って

リーグ戦も勝てない苦しい状況が続いていたので、しっかり立て直せてチームとして勝てたのが良かった。個人としても結果を残せて良かった。

Q.総理大臣杯に向けて

あくまでスタートラインなので、日本一になれるように全員で切磋琢磨して準備してもっと強くなれるように頑張りたいです。

Q.最後に意気込みを

利き足の「頭」でゴールを決めます。

総理大臣杯 出場4チーム



桃山学院大学 (2大会ぶり10回目)



関西福祉大学 (初)



大阪体育大学 (11大会連続26回目)



びわこ成蹊スポーツ大学 (2大会連続4回目)



関西を代表する
4チームを応援しよう！